

Evaluating the consultation by a Certified Nurse Specialist (CNS) in stroke rehabilitation nursing: Consultation on social behavior deficits in patients with higher cortical dysfunction

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Shimomura, Akiko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/28533

博士論文審査結果報告書

報告番号 医博甲第2184号

学籍番号 0627022011

氏 名 下村晃子

論文審査員

主 査 (職名) (教授) 泉キヨ子

副 査 (職名) (教授) 稲垣美智子

副 査 (職名) (教授) 島田 啓子



論文題名

Evaluating the consultation by a Certified Nurse Specialist (CNS) in stroke rehabilitation nursing: Consultation on social behavior deficits in patients with higher cortical dysfunction

(脳卒中リハビリテーション看護における専門看護師 (CNS) のコンサルテーションの効果: 高次脳機能障害患者の社会的行動障害に対するコンサルテーション)

論文内容の要旨

本研究は高次脳機能障害患者の社会的行動障害に対し、研究者の先行研究で明らかにした専門看護師 (CNS) のコンサルテーション機能を用いて看護師へ介入し、その効果を明らかにすることを目的とした。対象は脳卒中専門病院の一回復期病棟において、高次脳機能障害の社会的行動障害がある患者 10 名と、研究チームメンバー 5 名を含む当該病棟看護師 14 名である。研究デザインはアクションリサーチを用い、振り返り記録、勉強会記録、研究メンバーの研究終了後アンケート等の質的データと、病棟看護師 14 名の自律性尺度、対象患者の脳卒中感情障害スケール、FIM の得点を調査した。その結果、研究メンバーは①高次脳機能障害のコミュニケーション特性の理解と精神症状のアセスメント力②看護師の感情が患者の精神状態に影響することに気づく③看護チームで共通の情報・関わりをもつ④認知機能が低下した患者にもガイドラインが適用可能⑤精神科へかけるタイミングがつかめ積極的に関わる⑥早期のカンファレンスのかけ方や対応、などに変化を認めた。さらに病棟看護師の自律性尺度は、研究後に向上、「実践能力」に有意差がみられた。患者の脳卒中感情障害スケールは、介入後に有意に減少した。これらより、CNS のコンサルテーションは、看護師が能動的に患者の問題行動の原因に焦点化して対処できるよう導き、患者の精神状態の安定をもたらすことに貢献し、看護師をエンパワーし、自律性に影響を与えたので、効果的な介入であったと示唆された。

論文審査結果

本論文は脳卒中リハビリテーション看護領域における専門看護師 (CNS) のコンサルテーションの効果についてアクションリサーチを用いて、患者と病棟看護師の双方の変化を明らかにしたところに独自性があり、意義ある研究として評価された。この分野の専門看護師の有用性が示され、今後に期待できる。公開審査会においてもデータの妥当性、アクションリサーチや CNS と一般看護師の介入の違いなどの質問もあったが口述発表、質疑応答も的確で適切であった。

以上より、本論文は博士 (保健学) の学位を授与するに値すると評価する。